

よみがえれ地方語

◎ 8 ◎

船津 好明

沖縄文字と発音

⑥

対照国語文字 沖繩文字

ん ん

音韻記号=?N
国際音声記号=[?m][?n]等

発想——国語文字「ん」の筆尾の点を「ん」に付与し、「ん」のウムラウト(変音)としたもの。

用例——んみ(梅)、んに(稲)、んなじ(うまさ)

対照例——んみ(嶺井)
へ地名、んに(胸)、んな(港)

「ん」の正しい発声への一つの接近法——のどぐちを閉じ、これを破裂させるような感じで、「ん」というようにすると、「ん」の発音に近くなる。後続の音韻などと比べて、上下の唇を接して発声する場合と、離して発声する場合がある。

×	×	×
×	×	×
×	×	×

対照国語文字 沖繩文字

い い

音韻記号=?i
国際音声記号=[?i]

音韻記号=?i
国際音声記号=[i]

発想——国語文字「い」のウムラウト(変音)としたもの。

用例——いん(縁)、いだ(枝)、いぬむん(同じもの)

原則として基礎単語の語頭に用い、語頭以外では「い」または「ー」を用いる。

対照例——いん(犬)、いちゅん(行く)、いーび(指)

「い」の正しい発声への一つの接近法——両頬を引き、上下の唇の間を細長く広げ、のどぐちを開いて、国語で「い」というようにすると、「い」の発音に近くなる。のどぐちを閉じた場合の「い」よりも濁った感じになる。

対照国語文字 沖繩文字

う を

音韻記号=?u
国際音声記号=[?u]

音韻記号=?u
国際音声記号=[u]

「い」の正しい発声への一つの接近法——両頬を引き、上下の唇の間を細長く広げ、のどぐちを開いて、これを破裂させるような感じで「い」というようにすると、沖繩語の「い」の発音に近くなる。発声時の口の形(唇、歯、舌、頬など)は、のどぐちの部分を除いて、前記の「い」よりも濁らない。「い」よりも澄んだ感じになる。

原則として基礎単語の語頭に用い、語頭以外では「う」または「ー」を用いる。

用例——ちち(夫)、ちーじ(甘蔗)

対照例——う(音)、うーび(帯)

「を」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすぼめて尖らせ、のどぐちを閉じて、これを破裂させるような感じで「う」というようにすると、沖繩語の「う」の発音に近くなる。

「う」の正しい発声への一つの接近法——上下の唇をすぼめて尖らせ、のどぐちを閉じて、これを破裂させるような感じで「う」というようにすると、沖繩語の「う」の発音に近くなる。発声時の口の形(唇、歯、舌、頬など)は、のどぐちの部分を除いて、前記の「を」の発声時と少しも変わらない。「を」よりも澄んだ感じになる。

発想——国語文字「を」と「う」を組み合わせた表記法が従来散見されるので、これに配慮し、これらを結合させたもの。

なお「う」をんと発声するのは、原則として基礎単語の語頭においてとし、語頭以外においては「と」発声する。(沖縄語研究家)